

視察調査・研修会等報告書

令和 4 年 5 月 25 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長

様

福田 洋一



議員氏名(関 良平)

研修・視察年月日	令和 4 年 5 月 16 日
研修会場・視察先	八戸市役所.議会会議室
研修名・視察目的	八戸ブックセンターについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	まちづくり文化スポーツ部 文化創造推進課.八戸ブックセンター
参加議員(同行者)	小川亘、福田洋一、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、高橋栄、渡辺一郎
調査概要	<p>1, 設立までの経緯 2, 運営に係る経費 3, 民間事業者との連携 4, 中心市街地 5, 今後の展望について</p> <p>2, 八戸ブックセンターは全国初の新しい書店のかたちです。</p> <p>① 本を読む人を増やす ② 本を書く人を増やす ③ 本でまちを盛り上げる</p> <p>読書会による新たなコミュニティがえられる。小学校、中学校、高校、大学との連携。市内全域に広がる。ブックサテライト、小さな飲食店や公共施設に小さな本箱を設置。フリーペーパーほんの輪、紙から本ができるまで展。</p>
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>1, 民間書店の協力 2, 産学官連携 3, 本を売るだけでなく本を書く人 4, 本がまちを盛り上げるコミュニティが生まれ活性化に寄与する。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和4年5月25日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員

様

福田 洋一



議員氏名(関 良平)

研修・視察年月日	令和4年5月17日
研修会場・視察先	栗原市役所、議会会議室
研修名・視察目的	移住・定住促進について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	企画部定住戦略室 係長 栗原聡 主査 佐藤理香
参加議員(同行者)	小川亘、福田洋一、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、高橋栄、渡辺一郎
調査概要	1, 移住に向けた各種支援制度の内容について 2, 住みたい田舎ベストランキング 2021 東北1位となるために行った取り組みについて 3, 仙台くりはらオフィスの概要と成果について
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	市民・地域・行政3つのチカラが補完し合う 首都圏等で移住相談会 移住定住支援員の設置、東京栗原オフィス、仙台栗原オフィス 新たな関係人口づくり 移住定住コンシェルジュとの連携。 空き家バンク・各種支援制度

視察調査・研修会等報告書

令和4年5月25日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 様

福田 洋一

議員氏名(関 良平)



研修・視察年月日	令和4年5月18日
研修会場・視察先	東松島市
研修名・視察目的	1, SDGs 未来都市について 2, 東松島市スマート防災エコタウン(現地視察)
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	東松島市復興政策部、地方創生 SDGs推進室 室長 大槻 敦 地方創生SDGs推進係長 成沢史浩
参加議員(同行者)	小川亘、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、高橋栄、渡辺一郎
調査概要	東松島市「SDGs未来都市について」 1, SDGs未来都市選定の経緯について 2, 災害復興との関連について 3, 「全世代グロウアップシティ東松島」推進のために行っている事業の内容について 4, 目的達成のための、市民、企業、関係団体との連携について
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	より良い復興をめざして持続可能な環境未来都市構想の推進 1, 一般社団法人東松島みらいとし機構の設立。 2, 産学官民連携して進めるHOPE設立。 3, 復興まちづくり計画及び環境未来都市構想の取り組み 4, SDGs未来都市へ 5, 復興モデル都市から地方創生のモデル都市へ 6, HOPE・東松島市スマート防災エコタウン、国内初の地産地消型マイクログリッド、電力会社への売電なし 7, 小山市は2030年までの経済社会環境とSDGs目標達成できるか

視察調査・研修会等報告書

令和 4 年 7 月 20 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 様

議員氏名(関 良平)



研修・視察年月日	令和 4 年 7 月 13 日																		
研修会場・視察先	福岡県北九州市																		
研修名・視察目的	介護ロボット等開発・導入実証事業について																		
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	北九州市保健福祉局先進的介護システム推進室 次長 堀江吏将																		
参加議員(同行者)	関良平、小川亘、福田洋一、荒井覚、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、 高橋栄、渡辺一郎																		
調査概要	<p>1, 事業の概要 2, 北九州モデルとはどうゆうものか 3, この事業による効果や今後の課題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎データ</th> <th>小山市</th> <th>北九州市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>167,437</td> <td>931,426</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>25.7%</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>要支援・介護認定者数</td> <td>7,530</td> <td>67,855</td> </tr> <tr> <td>介護老人施設</td> <td>14</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>施設定員</td> <td>645</td> <td>5,490</td> </tr> </tbody> </table>	基礎データ	小山市	北九州市	人口	167,437	931,426	65歳以上	25.7%	31.3%	要支援・介護認定者数	7,530	67,855	介護老人施設	14	82	施設定員	645	5,490
基礎データ	小山市	北九州市																	
人口	167,437	931,426																	
65歳以上	25.7%	31.3%																	
要支援・介護認定者数	7,530	67,855																	
介護老人施設	14	82																	
施設定員	645	5,490																	
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>1, 今後の生産年齢人口の減少に伴う介護人材不足を見据え、介護現場や介護ロボット等の開発メーカー等に対して、介護ロボット等導入。活用、普及に関する支援を行い、介護現場における介護の質の維持、向上、職員の負担の軽減、生産性の向上を目指す。</p> <p>2, 人手不足の時代に対応したマネジメントモデル構築。ロボット・センサー・ICT の活用。介護業界のイメージ改善と人材確保。</p> <p>3, 国家戦略特区制度ロボット・ICT。</p> <p>4, テクノロジーで解決できること、ロボットや、ICT はあなたの手助けをしてくれる道具です。目的ではありません。</p>																		

令和4年7月14日

視察調査・研修会等報告書



下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 様

議員氏名(関 良平)

研修・視察年月日	令和4年7月14日
研修会場・視察先	山口県山口市
研修名・視察目的	山口市産業交流拠点施設について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	山口市商工振興部ふるさと産業振興課 課長 金子忠正 山口市商工振興部ふるさと産業振興課 副主幹 谷野昇平
参加議員(同行者)	関良平、福田洋一、荒井覚、小川亘、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平 高橋栄、渡辺一郎
調査概要	(1) 産業交流拠点施設整備に至った経緯及び目的について (2) 整備費用(国県の補助などの内訳)について (3) 多目的ホールなどの公共施設の運営主体について 小山市と同様で公共交通機関の交通結節点であり合併により山口と小郡と2つの市街地の求心力と拠点性を持つ広域県央中核都市の核と位置付ける。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	新山口駅ターミナルパーク整備では交通結節、アクセス機能の強化、そして新山口駅北地区重点エリア整備として約3年前から建設工事をスタートし、令和3年4月にオープンしたのが山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホールであります。事業費は110億円、財源は社会資本整備総合交付金、合併特例債等による。 プロジェクトマネジメントした森ビル都市企画((株))である。

視察調査・研修会等報告書

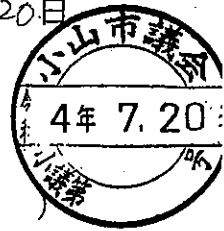
年7月20日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長

様

議員氏名(関 良平



研修・視察年月日	令和4年7月15日
研修会場・視察先	岡山県岡山市
研修名・視察目的	SDGs 未来都市及び ESD の取り組み状況について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	岡山 ESD 推進協議会、市民協働局、市民協働部 SDGs・ESD推進課 課長 岩田裕久 課長補佐 水谷宗平
参加議員(同行者)	関良平、小川亘、福田洋一、荒井覚、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、高橋栄、渡辺一郎
調査概要	岡山市:SDGs未来都市及びESDの取り組み状況について (1) SDGs未来都市に選定された経緯について (2) 2030年のあるべき姿及び達成に向けた取り組みについて (3) 市内体制について及び達成に向けた、市民、企業、関係団体との連携について (4) 岡山市で取り組むESDについて (5) SDGsとESDとの関係について
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	2001年岡山市環境パートナーシップ事業開始。世界首脳会議のサイドイベントで岡山市の取り組みを報告。2005年おかやまESD推進協議会設置。岡山ESDプロジェクト開始、持続可能な社会の実現に向け、共に学び、考え行動する人が集う地域づくり。国連大学よりESD地域拠点認定。2007年岡山市が岡山大学とESDに関する協定。2015年岡山ESDプロジェクト 2015-2019 基本構想策定。2018年内閣府からSDGs未来都市に選定。MDGsの時代にESD活動の広がりが現在のSDGsに結びつき、具体的な開発目標、この目標をESDにより実践する。ESDはSDGsの全ての目的達成のカギ。

視察調査・研修会等報告書

別添様式5

令和5年1月27日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋 一様

議員氏名(関 良平



研修・視察年月日	令和5年1月16日
研修会場・視察先	尼崎市
研修名・視察目的	SDGs「あま咲きコイン」について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	経済環境局 経済部 地域産業課 課長 松田 登 尼崎市 経済環境局 経済部 地域産業課 係長 山下 秀樹
参加議員(同行者)	小川亘、福田洋一、荒井覚、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、渡辺一郎
調査概要	電子地域通貨 あま咲きコイン ためる つかう ふやす キャッシュレスで安全便利、QRコードでかんたん決済 チャージで まちで使って SDGs でたまるポイント
市政の課題等に対し どのように参考になるか、	市内加盟店で1ポイント1円として利用できる、専用アプリ・カードを使ったキャッシュレス決済サービス。チャージすることで繰り返し始利用できます。あま咲きコインを使うことで地元のお店やサービスがにぎわいます。同じものを買うなら尼崎で、近所のお店で使えるから、と言う地元愛を形に。SDGsの達成に繋がる健康づくりや環境にやさしい活動、ボランティアなどに参加するとポイントがたまります。 プレミアムはアプリ型20%、カード型10% 使ってポイント還元5%

視察調査・研修会等報告書

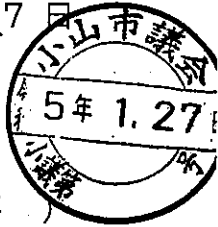
別添様式5

令和5年1月17日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋 様

議員氏名(関 良平)



研修・視察年月日	令和5年1月17日
研修会場・視察先	神戸市
研修名・視察目的	Urban Innovation KOBE イノベーション神戸
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	神戸市 医療・新産業本部 新産業部長 垣内 正雄 新産業課長 武田 卓
参加議員(同行者)	小川亘、福田洋一、荒井覚、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、渡辺一郎
調査概要	全国に先駆け、スタートアップ支援事業開始 支援者数延べ500社以上、資金調達額140億円の累積実績 イノベーションが生まれやすい環境をつくり革新的に課題を解決
市政の課題等に対し どのように参考になるか、	主なスタートアップ支援事業 育成 500Globalによる起業家育成プログラム。実践 Urban Innovation KOBE。挑戦 UNOPS Innovation Centre。 主なスタートアップ支援事業 共創 ビジネススクエアANCHOR KOBE 資金ひょうご神戸スタートアップファンド。主なスタートアップ支援事業 創出 KOBEワカモノ企業コミュニティ スタートアップスタジオ 神戸エンジニアラボ。アーバンイノベーション神戸スタートアップと職員が協働する新たな地域課題プロジェクト。 紙による開発許可申請の電子化、衛星データを活用した遊休農地の把握など

視察調査・研修会等報告書

別添様式 5

令和 5 年 1 月 27 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋 一様



議員氏名(関 良平)

研修・視察年月日	令和 5 年 1 月 18 日
研修会場・視察先	高知市
研修名・視察目的	オーテピア高知図書館
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	高知市教育委員会 図書館科学館担当参事 高地市民図書館 館長 高石敏子 高知県立図書館 高地市民図書館本館 高知市図書館・科学館 課長 広瀬友也 高知市議会事務局 議事調査課 主幹調査係長事務取扱 森 美樹子
参加議員(同行者)	小川亘、福田洋一、荒井覚、篠崎佳之、岡田裕、福田幸平、渡辺一郎
調査概要	高知県及び高知市立市民図書館の合築による図書館 合築による懸念、基本構想等、組織運営の在り方
市政の課題等に対し どのように参考になるか、	複合施設①効果、課題、質量ともに充実した蔵書とサービスの提供。相互補完による事業の充実と多様な利用者へのサービスの向上。中心市街地の活性化に寄与。合築議論による図書館への関心の高まり。②課題、予算の確保、共同運営において意識していること理念・目的・目標の共通認識を持つ。③デメリットは県民市民、利用者の立場からすると、デメリットはありません。④職員構成、職員数 高知県正社員30人内23人司書有資格 任期付短時間勤務職員 0 会計年度任用職員14人内11人司書有資格 計44人 高知市正社員26人内17人司書有資格 任期付短時間勤務職員6人内4人司書有資格 会計年度任用職員 36 人内16人司書有資格。合計98人 総事業費 145億9千4百万円